

業務運営進行表

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

所属	局名	部名	室・課（出先は所属）名	所属のホームページ
	教育局	—	横浜翠嵐高等学校	http://www.yokohamasuiran-h.pen-kanagawa.ed.jp/

I 業務概要

全日制の課程（普通科）、定時制の課程（普通科）



II 収支の状況

(単位：千円)

		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	出納整理期間	累計	
収入	収入科目	年間計画額	収入済額					
	使用料及び手数料	845	126	12,909	24,061	11,208	48,304	
	財産収入						0	
	その他	1,148	240	212	397	270	1,120	
	収入計(A)	1,993	366	13,122	24,458	11,478	0	49,424
支出	項目	(再)配当額	支出済額					
	事業費	39,865	2,109	5,831	17,819	13,621	485	39,865
	維持管理費	36,895	4,374	7,818	9,271	13,135	2,296	36,895
	計	76,759	6,483	13,650	27,089	26,756	2,781	76,759
	人件費（注1）		256,057	173,914	259,297	180,965		870,233
支出計(B)		262,540	187,564	286,386	207,722	2,781	946,992	
差額(A)-(B)（注2）		△ 262,173	△ 174,442	△ 261,928	△ 196,244	△ 2,781	△ 897,567	

（注1）人件費には職員数に共済費及び退職手当の平均単価を乗じて算出した共済費相当額（事業主負担分）及び退職手当相当額が含まれています。

（注2）差額の△(マイナス)には、県税や県債、国庫支出金等を充当しています。

（注3）各項目毎に千円未満四捨五入を行っているため、各計欄は各項目を合計したものと一致しない場合があります。

III 職員配置状況

配置職員数	区分	4月1日	7月1日	10月1日	1月1日
	常勤職員	87	88	87	87
	上記以外の職員	73	79	77	77
	計(人)	160	167	164	164

IV 業務実施状況

1 生徒数の状況（平成26年5月1日現在）

全日制の課程（普通科）

	年次	1年	2年	3年	合計
学級数		9	8	8	25
生徒数	男	238	198	173	609
	女	128	116	138	382

定時制の課程（普通科）

	年次	1年	2年	3年	4年	合計
学級数		5	4	4	3	16
生徒数	男	83	55	71	24	233
	女	59	49	37	21	166

2 進路の状況

全日制の課程（普通科）

		平成24年	平成25年	平成26年
卒業生数		276	270	275
進学	4年制大学	179	175	198
	短期大学	1		
	専門学校・各種学校			
就職		1		
その他・進学準備等		95	95	77

定時制の課程（普通科）

		平成24年	平成25年	平成26年
卒業生数		96	72	78
進学	4年制大学	4	10	5
	短期大学	1		
	専門学校・各種学校	21	16	16
就職		21	18	13
その他・進学準備等		49	28	44

3 年間行事予定

全日制の課程（普通科）

4月 入学式 健康診断 スポーツテスト 進路説明会	8月 夏季休業 夏期講習 前期授業再開	12月 学校見学会 冬季休業 冬季講習
5月 球技大会 前期中間試験	9月 前期期末試験 体育祭 学校説明会 全校集会	1月 冬季講習 学力テスト（1・2年）
6月 翠翔祭（文化祭）	10月 避難訓練 2年修学旅行 学校へ行こう週間 地域貢献活動 球技大会	2月 平成27年度入学者選抜
7月 芸術鑑賞 体育祭結団式 夏季休業 夏期講習	11月 後期中間試験（1・2年） 学年末試験（3年） 学校見学会	3月 卒業式 学年末試験 分野別職業講話 終業式・離任式

定時制の課程（普通科）

4月 入学式 健康診断	8月 夏季休業 前期授業再開	12月 全校集会 大掃除 冬季休業
5月 健康診断 前期中間試験	9月 前期期末試験	1月 登下校指導週間 授業取組週間 後期期末試験
6月 翠翔祭（文化祭） 交通安全教室	10月 後期始業 学校へ行こう週間 球技大会	2月 避難訓練 進路説明会 平成27年度入学者選抜（共通選抜）
7月 薬物乱用防止講演会 夏季休業 保護者面談週間	11月 修学旅行 校内学校説明会 後期中間試験	3月 卒業式 平成27年度入学者選抜（定通分割選抜）履修指導期間 終業式・離任式

V 業務運営に関する評価

全日制の課程（普通科）

<教育課程>

- (1) 「学力向上進学重点教育実践校」にふさわしい学習機会を提供する。
- (2) グローバル人材育成のために様々な教育活動を行う。

<生徒指導・支援>

- (1) 豊かな社会性や規範意識や他者を思いやる温かい心と冷静な判断力など、真のトップリーダーに求められる資質と能力の涵養を図る。
- (2) 基本的生活習慣の確立を図る。
- (3) スクール・カウンセラー等との連携をさらに充実させる。

<学習指導・授業改善>

- (1) 生徒の一層の学力向上のために授業力を向上させ、論理的思考力をこれまで以上に育成する。
- (2) 生徒の学習意欲を高め、探究力、表現力をこれまで以上に育成する。

<キャリア教育>

- (1) これまで以上に生徒の進路実現を図る。
- (2) 各部活動が活動意義を意識した活動を行う。

<地域等連携>

- (1) 広く本校の教育活動や特色ある取組について、情報を発信し、地域に開かれ、信頼される学校づくりを目指す。
- (2) 地域貢献活動などえお通して、生徒の豊かな社会性をはぐくむ。

<学校運営・学校管理>

- (1) 事故・不祥事防止に向けて組織的に取り組む。
- (2) 防災に対する意識の向上を図る。
- (3) 施設整備の充実を図り、快適で安全な学習環境を整備する。

定時制の課程（普通科）

<教育課程>

- (1) 三修制を可能とする教育課程の研究。
- (2) 多様な生徒に対応できる教育課程の検討と改善。

<生徒指導・支援>

- (1) さまざまな課題を抱える生徒の理解をした上で、生徒指導体制の確立を図る。
- (2) 自主的活動を促進する生徒支援の視点に立った学校づくりを推進する。

<学習指導・授業改善>

- (1) 基礎学力の定着を通じ生徒の学習意欲向上をめざす。
- (2) 授業の研究・改善に取り組む。

<キャリア教育>

さまざまな環境にある生徒を全体で支援する体制を築き、生徒の希望や能力に即した進路指導の推進を図る。

<地域等連携>

- (1) 地域・保護者と連携し、生徒が安全安心し学習に取り組むことができる環境作りを推進する。
- (2) 地域や保護者等の支援を活用した教育活動展開を検討する。

<学校運営・学校管理>

- (1) 地域・保護者に信頼される学校づくりを推進する。
- (2) 生徒の防災意識を高め、安全対策強化につとめる。

2 平成26年度の学校目標の評価

全日制：現在の教育課程について、8割を超える生徒が「卒業後の進路に向けた勉強に適している。」と考えている。満足度の高い教育課程の編成ができた。教育相談コーディネーター、養護教諭、スクールカウンセラーが定期的に話し合いを持ち、連携体制を構築できた。総合的な学習の時間の「探求講習」において、生徒が自ら課題を設定し、主体的に探求学習に取り組むことができた。総合的な学習の時間の「職業研究」や「分野別職業講話」を通じて、生徒は職業や大学に関する理解を深めることができた。平成26年11月4日に、全日制・定時制の生徒、保護者、卒業生、地域の方々が協力し合い、創立100周年にふさわしい記念式典・記念演奏会を行うことができた。日常的な事故防止の呼び掛けや定期的に事故防止会議を行うことで、職員個々の事故防止に関する意識啓発を行うことができた。

定時制：平成26年度は、3修制によって卒業した者が64名であり、昨年より10名増加した。生徒指導について組織的に対応するとともに外部機関とも連携し、効果を上げた。また、職員全体で概ね生徒の情報共有ができた。日本語を母語としない生徒に対し、今年度新たに「保健」について取り出し授業を行い、生徒が主体的・積極的に授業参加できた。平成25年度は大学進学者が5名だったが、今年度は11名となり、指導の成果が上がった。分野別進路説明会や上級学校見学会等を通じて、生徒個々の能力と適性にあった進路選択を考察させることができた。地域町内会及び保護者と連携し、地域清掃活動を実施することができた。事故防止会議や朝の打ち合わせ等において事故事例や新聞記事を効果的に活用した事故防止研修を実施し、事故防止に関する職員の意識啓発を行うことができた。

連絡先（電話番号）

045-311-4621（代表）